

第19号
東北福祉大学
 学長 萩野 浩基
 〒981-8522 仙台市青葉区国見1-8-1
 電話(代) 022-233-3111
 F A X(代) 022-233-3113
 ホームページ
<http://www.tfu.ac.jp>

東北福祉大学同窓会 会報

東北福祉大、工学院大、神戸学院大をつなぐ TKK連携センターが始動

東北福祉大学、工学院大学、神戸学院大学の頭文字を冠した三大学連携プロジェクト「TKK連携センター」開設記念シンポジウムが十二月十三日、音楽堂けやきホールで開催された。テーマは「二十一世紀、社会貢献活動の担い手づくりをめざして」で、市民や学生ら約七百人が参加し、熱気にあふれた。

三大学の連携事業は文部科学省平成二十一年度「大学教育充実のための戦略的連携支援プログラム」に採択され、防災・減災・ボランティアを中心とした社会貢献教育の展開を図る。

司会を高橋文太郎君(福心二年)と高橋奈津子さん(修士二年)が務め、渡辺信英学長補佐が「他人のために何ができるかを考え、共同体を超えた支援をしていこう」と開会宣言した。

第一部で神戸学院大学の岡田芳男学長が「一大学ではできない教育、研究活動をしていきたい」と抱負を述べ、工学院大学の水野明哲学長が「三大学が連携して、センターの発展を願う」とし、祝意を表して四十年にわたって磨いてきた得意の尺八の腕前を披露した。

本学の萩野浩基学長は、十四年



工学院大学・水野学長、神戸学院大学・岡田学長と本学の萩野学長(左から)

3大学学長あいさつ

第二部は三大学の学生が取り組む社会貢献活動の報告。神戸学院大学は高木洋輔君と稲田靖子さん(ともに三年)が「神戸学院大学学際教育機構、防災・社会貢献ユニットの取組」を、工学院大学は濱野航平君(修士二年)が「都心に建つ超高層キャンパスの地震防災」を、海沼大樹君(四年)が「大学を拠点とした地域減災体制の構築」について動画を交えて紹介した。本学はボランティアサークル「FAST」、「Withボランティア」、「ZERO」、「ピンチヒッター」、「匠民(たくみん)」の五団体が地域での減災・安全・子ども活動の各取組を説明した。

また、一息入れるタイミングで本学の減災予防福祉ゼミで考案さ

前の阪神淡路大地震でボランティアに出向いた本学の活動に触れ、人間力を持って社会力を発揮していくべきだ。シンポジウムを通じて社会貢献の目を開いてくれたらうれしい」と歓迎の言葉を語った。

続いて文部科学省高等教育局大学振興課の成相圭二係長、仙台市危機管理監の中鉢裕氏が祝辞を述べた。

第二部は三大学の学生が取り組む社会貢献活動の報告。神戸学院大学は高木洋輔君と稲田靖子さん(ともに三年)が「神戸学院大学学際教育機構、防災・社会貢献ユニットの取組」を、工学院大学は濱野航平君(修士二年)が「都心に建つ超高層キャンパスの地震防災」を、海沼大樹君(四年)が「大学を拠点とした地域減災体制の構築」について動画を交えて紹介した。本学はボランティアサークル「FAST」、「Withボランティア」、「ZERO」、「ピンチヒッター」、「匠民(たくみん)」の五団体が地域での減災・安全・子ども活動の各取組を説明した。

また、一息入れるタイミングで本学の減災予防福祉ゼミで考案さ

社会貢献活動支援士養成

第三部は「これからのTKKを考えると」と題して、パネルディスカッションを行った。TKK学び合いセンター長の前林清和教授(神戸学院大学)、助け合いセンター長の久田嘉章教授(工学院大学)、分ち合いセンター長の小松洋吉本学教授がパネリストを務め、アドバイザーに古閑良行氏(河北新報社記者)、児島正氏(榊原シヤパン)、船木伸江氏(神戸学院大学講師)が出席した。コーディネーター役の小松教授が「連携から融合へ、市民社会とのかかわりを視野に力を合わせよう」と呼びかけた。

三大学は今後、講義内容を共同開発し、映像中継システムを介して遠隔授業を実施する。また、「社会貢献活動支援士」認定資格制度発足に向け、準備を進める。仙台、東京、神戸を結ぶ災害に備えた全国初の取組。いつ来るとも限らない有事に備え、三大学の一致団結態勢が整った。

れた減災体操がゼミの三年生十八人により紹介され、ホールと一体になって実践する場面があった。

第三部は「これからのTKKを考えると」と題して、パネルディスカッションを行った。TKK学び合いセンター長の前林清和教授(神戸学院大学)、助け合いセンター長の久田嘉章教授(工学院大学)、分ち合いセンター長の小松洋吉本学教授がパネリストを務め、アドバイザーに古閑良行氏(河北新報社記者)、児島正氏(榊原シヤパン)、船木伸江氏(神戸学院大学講師)が出席した。コーディネーター役の小松教授が「連携から融合へ、市民社会とのかかわりを視野に力を合わせよう」と呼びかけた。

三大学は今後、講義内容を共同開発し、映像中継システムを介して遠隔授業を実施する。また、「社会貢献活動支援士」認定資格制度発足に向け、準備を進める。仙台、東京、神戸を結ぶ災害に備えた全国初の取組。いつ来るとも限らない有事に備え、三大学の一致団結態勢が整った。

茨城県高萩市と防災協定結ぶ

東北福祉大学は十二月二十七日、大学の第一会議室で茨城県高萩市と「防災・減災及び大規模災害時における相互支援に関する協定」を結び、調印した。

調印式には大学から渡辺信英学長補佐と大竹榮総務局長、高萩市からは草間吉夫市長(昭33福祉卒)、皆川敏夫総務部参事兼総務課長らが出席した。

協定の内容は①防災・減災及びボランティア活動に関すること②大規模災害時における救助及び応急復旧に必要なボランティア等の相互派遣に必要事項を定めること③その他、特に災害復旧に必要なこと。渡辺学長補佐が「お互いに協力し合って、将来にわたり、いい関係を築きたい」と述べれば、草間市長は「大学が持つ多面的なノウハウの提供を期待している」と抱負を語り、両者ががっちり握手を交わした。

本学は一九九五年一月十七日に発生した阪神大震災で延べ二百二十人の学生が現地へ赴き、ボランティア活動を開始。以来、さまざまな形で支援を行っている本学に新たな一ページが加わった。



高萩市の草間市長(左)と渡辺学長補佐

本当に強い大学で本学16位に

会社四季報で知られる東洋経済新報社の「週刊東洋経済」(十月二十四日発行)が、「本当に強い大学2009」の特集号を発行した。全国の国公私立一七三大学の総合力を分析した結果、東北福祉大学が日本の大学TOP100の中で、堂々たる十六位に評価された。

一七三大学の内訳は私立一〇四、国立六二、公立七で、財務力、教育力、就職力に関する十一の指標が総合判定されたもの。

受験者増や文部科学省のG.P、大学教育改革支援事業における数々の採択、保健・福祉・医療にとどまら



週刊東洋経済10月24日発行

通信教育部からのお知らせ

通信教育部では、入学前一年以上に相談援助の実務経験を有する方は実習をせずに社会福祉士受験資格取得が可能となっています。また、幼・小・中・高のいずれかの教職免許をお持ちの方は、特別支援学校教諭免許状が二九単位の履修で取得可能です。

平成二十二年度からは福祉心理学科にカウンセリング系のスクー

学内で寛ぎの場は
 人には憩いの場所がある。家の中でも街中でも、どこかほっとできる空間を自然と求めてしまおうのが人間である。人によってはトイレであつたり、湯船に浸かっているときであつたり、あるいは喫茶店であつたり、はたまた公園のベンチであつたりするかもしれない。では、本学の場合、学生たちが憩えるような「寛ぎの場」は何処にあるのか、探ってみよう。▼昭和四十七年十二月八日に完成した三号館の建物中央に昨年四月、四人がけのテーブル十五個が入るほどのスペースが誕生した。陽当たりもよく、空調が整い、快適なもの。早速、授業の合間に利用する学生でにぎわっている。友人と談笑したり、読書、レポート作成、パソコンにとらめっこ、お弁当を広げたりと思いいい時間をお過ごししている。居心地がいらいらしく、学生が集まる。今や人気スポットの一つになっている。▼他に目を転じれば岸沢銚介美術工芸館前には大小のテーブルに五十人が座れる空間がある。一号館地下一階の就職部前には通路を挟んだ向かいにテーブルが四個置かれ、資料を見ていた学生が「落ち着ける場所」と話してくれた。以上は比較的新しい場所だが、音楽堂前ハートニースクエア脇の学生ホール、天気によければ中庭広場、定番の学生食堂と、憩える場所は次々に挙げられる。▼現代社会は「ストレス社会」とも言われている。学生と言えども例外ではない。学業や進路、サークル、友人関係、恋愛など、悩み多き青春時代。学生には学内のどこかに寛げる場、憩いの場を見つけてほしい。

平成十九年度卒業のプロゴルファー・池田勇太さんが十二月十八日、東京・グランプリンスホテル赤坂で「感謝の集い」を開催した。六月の日本プロ選手権でツアー初優勝を飾ると、八月のKBCオーガスタ、十月のキヤノン、プリヂスTONと四勝を挙げ大活躍。あの石川遼選手と十二月のツアー最終戦まで賞金王争いを演じ、男子ゴルフ界を盛り上げた。

そんな池田さんが「感謝の集い」を企画し、これまで見守ってくれた人々を招待

ドプリンスホテル赤坂で「感謝の集い」を開催した。六月の日本プロ選手権でツアー初優勝を飾ると、八月のKBCオーガスタ、十月のキヤノン、プリヂスTONと四勝を挙げ大活躍。あの石川遼選手と十二月のツアー最終戦まで賞金王争いを演じ、男子ゴルフ界を盛り上げた。

そんな池田さんが「感謝の集い」を企画し、これまで見守ってくれた人々を招待

池田さんと母親ゆみさんをステージに招き「彼が一番感謝しなくてはいけない人」と紹介し、池田さんが母親に花束を手渡すと、場内から盛大な拍手が送られた。

世界ランキング三三位の池田さんは四月、ゴルフの祭典、マスターズ(米ジョージア州オーガスタ)に出場する。初出場する彼の雄姿に声援を送りたい。

平成19年度卒業プロゴルファー 池田勇太さん感謝の集い 4月ゴルフの祭典マスターズに初出場



あいさつする青木功プロ 池田プロと母親を祝福する阿部監督

平成十九年度卒業のプロゴルファー・池田勇太さんが十二月十八日、東京・グランプリンスホテル赤坂で「感謝の集い」を開催した。六月の日本プロ選手権でツアー初優勝を飾ると、八月のKBCオーガスタ、十月のキヤノン、プリヂスTONと四勝を挙げ大活躍。あの石川遼選手と十二月のツアー最終戦まで賞金王争いを演じ、男子ゴルフ界を盛り上げた。

そんな池田さんが「感謝の集い」を企画し、これまで見守ってくれた人々を招待

ドプリンスホテル赤坂で「感謝の集い」を開催した。六月の日本プロ選手権でツアー初優勝を飾ると、八月のKBCオーガスタ、十月のキヤノン、プリヂスTONと四勝を挙げ大活躍。あの石川遼選手と十二月のツアー最終戦まで賞金王争いを演じ、男子ゴルフ界を盛り上げた。

そんな池田さんが「感謝の集い」を企画し、これまで見守ってくれた人々を招待

池田さんと母親ゆみさんをステージに招き「彼が一番感謝しなくてはいけない人」と紹介し、池田さんが母親に花束を手渡すと、場内から盛大な拍手が送られた。

世界ランキング三三位の池田さんは四月、ゴルフの祭典、マスターズ(米ジョージア州オーガスタ)に出場する。初出場する彼の雄姿に声援を送りたい。

した。本学からは萩野浩基学長、渡辺信英学長補佐、ゴルフ部の部長でもある大竹榮総務局長をはじめ、平成元年度卒業の元プロ野球選手・佐々木浩さん、同級生の女子プロゴルファー・佐伯三貴さんに池田さんの友人、知人、マスコミ関係者を含め、千人を超える盛大な会になった。

羽織・袴姿で登場した池田さんは開口一番「こんなに多くの方に来ていただき、本当に感謝している」と話すと、こみ上げるものを抑えることができなかった。

日本プロゴルフ協会の松井功会長、日本ゴルフツアー機構の小泉直会長に続いて、萩野学長が「掃除を率先して行うなど、こういう男が人間的に深いゴルファーになると思った」とあいさつを述べた。ヤンキー先生こと義家弘介特任

平成12年 (2000年) 当時

情報福祉学科新設など 3つの進化を掲げる

東北福祉大学は一八七五年(明治八年)に曹洞宗専門学支校として誕生した。幾多の変遷を重ね一九五八年(昭和三十三年)に短期大学になり、六二年(同三十七年)に四年制大学に昇格、社会福祉学部社会福祉学科を設けた。短大時代から数え、卒業生の数は三万七千人を超えている。さて、大学の時を振り返るシリーズは一九回目。今回は社会福祉学部から総合福祉学部へ名称が変わった二〇〇〇年(平成十二年)を取り上げる。二十一世紀に向け、本学は三つの進化を掲げた。十年ひと昔とはよく言われるが、区切りのミレニアム最後の年を思い起こしたい。

学部名称を変更

三つの進化とは、第一に情報福祉学科の新設が挙げられる。世はまさにIT(情報技術)ブーム真っただ中。本学は情報科学を基盤に社会福祉学を学ぶという既存にはない学科を立ち上げた。単にコンピュータの操作技術を学ぶだけでなく、情報を活用した質の高い福祉を推進する人材を育てることを目標にした。定員は百人。二つ目は社会福祉学科と福祉心理学科定員の各五十人増。社会福祉学科は従来の社会福祉、総合福祉に精神保健福祉が加わり、三コースになり、三百人から三百五十人

頑張ってます 今も昔も

3つの進化を伝える 当時の大学通信第56号 (平成12年3月15日発行)



待望の同窓会員名簿



雑誌とも整備された。図書・資料検索システムが十一月に更新され、検索作業が便利になった。インターネットも利用可能になり、電子図書館の一面が加わった。西暦二〇〇〇年という節目の年に「同窓会員名簿」を十月二十五日に発行した。調査は一年五カ月及び、精度の高い名簿になった。特色は現姓・旧姓どちらからでも索引でき、都道府県別の索引を設けた点にある。同窓生は二万六千人を超え、希望者には無料で十二月までに発送を終えた。同窓生相互を結ぶ絆とし、旧交を温め、親愛の情を増進するための一助になればとの願いが込められた。この年はミレニアムブームで、その象徴が七月の新紙幣二千円札の発行だった。推進者の小淵恵三首相は発行前の五月に死去したが、表面に印刷された沖縄県首里城の守礼門がある沖縄でサミットが開催された。九月にシドニー五輪が開催された。野球で本学の四年生・吉見祐治君(横浜)が卒業生の鈴木郁洋さん(中日、現オリックス)とバッテリーを組み、出場した。吹奏楽部は十月に初の全国大会に出場、現在は出場常連校になったが、創部二十五周年にしての悲願達成だった。たかが十年、されど十年。ついでこの間の出来事のように思えるが、時の流れを思い知らされる。

くにみ街道伊達まつり開催

大学と地域の共創(協創)の場に



会場入り口での案内ポスター

蓄積された本学の知的財産、資源を地域社会に役立ててもらおうと十月二十五日、JR仙山線「東北福祉大前」駅に建つステーションギャラリー「くにみ」が開設された。本学が取り組むさまざまな「人づくり」事業を地域で紹介するとともに、大学を身近な存在として感じてもらう、大学と地域住民が互いに顔が見えるお付き合いをしようとの願いが込められた。名付けて地域共創(協創)の場。本校地とステーションギャラリーを中心に半径一km圏内の二十九町内会に呼びかけた結果、二千人を超える参加者が訪れた。内容は盛りだくさん。館内では文部科学省から採択された本学の各種事業や研究成果をはじめ、自転車を使った発電などの科学実験、減災トランプ、かるたで学ぶ減災あそび、学生と市民が一緒につくったドラマ、プロの声優・青野武氏による絵本朗読などが紹介された。また、予防福祉健康増進センターの仙台元気塾が主催したクリニカルアートとメディカルフィットネスは予想を上回る参加者でにぎわった。クリニカルアートは六一人がオリジナルの植木鉢づくりに挑戦。一時間かかるにもかかわらず熱心に取り組んだ。メディカルフィットネスは参加六四人中五一人がインボディと骨強度の測定会に臨んだ。高齢者に限らず三十代、四十代に十代の若者も交じり、体に対する関心の高さがうかがえた。



食の祭典で舌鼓を打つ参加者

食の祭典では地産の野菜、海産物をはじめ、焼き鳥、焼きそば、いかぼつぽに無料の豚汁、おにぎりが人気を呼んだ。参加者から「今までは大学の中のことだからなかったが、これを契機に自由に入り出ることができるように思える」と期待のコメントが寄せられた。

女子ソフトボール部 優勝祝賀会

2年連続3度目の日本一

八月の文部科学大臣杯第四十四回全日本女子ソフトボール選手権大会で二年連続三度目の優勝を飾った本学は十一月二十八日、仙台市内のホテルメトロポリタン仙台で優勝祝賀会を開催した。選手と保護者、卒業生、大学関係者ら約二百五十人が参加した。萩野浩基学長が「見えないところで努力してきた成果が出てうれしく思う」と祝意を述べた。同部の顧問を務める大竹榮総務局長は「皆さんが頑張れば、社会も国も生き返る」と期待を込めて話し、乾杯の音頭を取った。女子バレーボール部の佐藤伊知子監督



乾杯の音頭を取る大竹榮局長

は「選手は体育会だけにとどまらず大学の鑑」と賛辞を贈った。選手二十五人と壇上上がった舟山健一監督は「ソフトをとったとき何が残るか。これから真価が問われる」と浮かれた様子は全くなし。千葉幸喜部長は「今後も勝ち続けなければならない。皆さんの協力をお願いしたい」と支援を訴えた。会場にはトロフィーや写真がパネルにして飾られ、また優勝を飾ったときのDVDも流され、あらためて日本一の感動に酔いしれた。

明治神宮ベスト8

第四十回明治神宮野球大会が十一月十四日、東京・神宮球場ほから行われ、二年連続二十三度目の出場を果たした本学は十六日の準々決勝で立正大と対戦。一点を追う九回表に平野和樹一塁手(三年)が右越えにソロ本塁打を打ち、同点としたが、その裏に得点され、万事休した。ベスト8での敗退となったが、中根佑二投手(二年)が七回までに三振を奪う好投を見せ、来季に期待を抱かせた。

平成22年度今後の入試情報

Table with columns: 学部, 学科・専攻, 試験日, 試験会場, 合格発表日, 手続期限日. Includes details for general selection and departmental exams.

大学院今後の入学試験日程

Table with columns: 学部, 学科・専攻, 試験日, 試験会場, 合格発表日, 手続期限日. Lists exam dates for various graduate programs.

東北福祉大学ホームページ http://www.tfu.ac.jp
東北福祉学部・子ども科学部・健康科学部
通信制大学院 総合福祉学研究所(修士課程)
TEL 0221717133 FAX 0221717133
TEL 0221233122 FAX 0221233122
TEL 0221727228 FAX 0221727228

同窓会便り ①

催しの報告

谷勝英ゼミOB会

谷ゼミOB会副会長・永井秀世氏
当会は平成二年(一九九〇)に、
ゼミ一期生の卒業十周年を機に結
成された。(会長 三浦毅・昭54
社福卒・宮城県在住)

青春の一時期に故谷勝英先生
(平成十四年逝去)と出会い、そ
の教えを受けた者が集い、交流を
深めることを目的に、近年では年
一回程度の集まりを仙台で催して
いる。東北各県はもとより新潟、
東京、兵庫など遠方からの参加者
も多く、五十代半ばになった一期
生から三十代の若いOBまで世代
を超えた交流を行っている。

また、谷教授が国際福祉論を専
門としていたこともあり、平成七
年にOB会を母体として、NGO
日本国際福祉協会(JIWA・本
部 神戸市)が設立され、ミャン
マー、インド、中国内モンゴル自
治区の三カ国で、小学校改築など
の教育支援を続けてきた。現在で
は、ゼミの枠を越えた幅広い層の



NGO活動で作った小学校
～ミャンマーにて～

開催予告

平成二十二年総会

長野県二同窓会
日時：五月
場所：未定
現在、参加者を募っております。
ぜひ、ご連絡ください。

なお、日時・場所につきましては、
おおよその参加人数を把握次第、
決定する予定です。

発起人：牛山俊夫(昭49社福卒)

田村茂正(昭53社福卒)

阿川(旧)赤羽直子(平

7社福卒)

連絡先：斎藤俊幸(昭58社福卒)

TEL:090-4736-3628

福田 明(平12社福卒)

バレーボール部OB会

バレーボール部OB会・柏倉啓二氏
十月三十一日(日)バレーボー
ルOB会は、仙台市のホテル白萩
に細井計先生(昭43年～49年まで
顧問)を来賓として迎え開いた。
出席者は秋田県を除く東北五県か
ら十名。

この度は、新たに佐藤春樹氏(昭
40社福卒)を会長に選出、これ
まで中心的役割を果たしてきた吉
田克己氏(昭36社福卒)と鈴木隆
氏(昭38社福卒)を相談役とし、
OB会運営の充実と強化を図るこ
とを決めた。

懇親会の中心はやはり在学中の
部活動やコンパなど懐かしい思い
出話だった。今後は、より多くの
出席者を得てOB会を発展させる
ことを誓いつつ再会を約束した。



細井計先生を囲んでの懇親会

開催予告

青森県同窓会(国見会)

日時：七月三日(土) 十五時～
十九時
場所：ホテル青森
・国見会退職者を励ます会

日時：五月十四日(金) 十九時～
十九時
場所：おいらせ
連絡先：石田井上 浅出温泉病院内
TEL:017(752)3004
FAX:017(752)3194

谷勝英ゼミOB会

谷ゼミ三十周年パーティーを開
催する予定です。一期生をはじめ、
ゼミ卒業生の皆様方、都合の付く
方は是非参加していただきたいと
思います。

人物登場

鈴木 明子さん



4年次ユニバーシアードで
優勝した鈴木さん

平成十八年度に本学を卒業した
鈴木明子さんがバンクーバー冬季
五輪フィギュアスケート女子の日
本代表に選ばれた。

十二月二十七日、大阪なみはや
ドームで行われた全日本選手権で
二位に入り、優勝した浅田真央さ
ん同様、初の五輪切符を手にした。

前日、ショートプログラムで四
位の鈴木さんはこの日のフリー
で、七つのジャンプを確実にこな
し二位に躍進。代表の残り2枠に
堂々と食い込んだ。

試合後「うれしい。今はフィギュ
アができるだけで幸せ」と喜びを
かみしめた。

鈴木さんは大学四年次の平成
十九年一月、イタリア・トリノで
開かれたユニバーシアード冬季大
会で優勝。同二十一年十月のクラ
ンプリ中国杯でも優勝、同十二月
のグランプリファイナルで三位と
着々と力をつけ、この日の荣誉に
つなげた。頑張れ、鈴木さん。

前田 有作さん



宮城県芸術選奨新人賞
を受賞した前田さん

平成二十年宮城県芸術選奨新人
賞に輝いた演出家で俳優の前田有
作さん(平4社福卒)が十二月十四日、
公演PRのため来学した。

前田さんは本学を卒業後、文学座
付属演劇研究所第三期生として入
所。新劇を学んだ後、小劇団の旗揚
げ公演やこまつ座のステージに携わ
り、Vシネマ等の業界通としても知
られている。演劇講師としても活動

体育会各部の成績

陸上競技部

第41回全日本大学駅伝(11月1日、
熱田神宮)伊勢神宮106.8キ

▽本学 5時間50分9秒 22位

第27回全日本大学女子駅伝(10月
25日、仙台市陸上競技場)仙台市
役所前38.6キ

▽本学 2時間16分57秒 19位

ハンドボール部

全日本学生選手権(11月7～11日、
石川総合スポーツセンター)

▽男子 二回戦敗退

▽女子 一回戦敗退

バドミントン部

第60回全日本学生選手権(10月
16～22日 滋賀県立体育館)

▽男子 一回戦敗退

テニス部

全日本大学対抗選手権大会(8月
9日、北上市和賀川GP)

▽男子準決勝

東北福祉大 2-3 日体大

卓球部

「仙台で演劇をメジャーにしたい。
お客様に心のご馳走として演劇を提
供したい」と抱負を語る。演劇で日
本を豊かにする会社、有限会社ラッ
クの代表取締役も勤めている。

なお、「父と暮せば」の公演日程
は次の通り

日時：二月二十一日(日)、二十二
日(月)、二十八日(日)、三月一日(月)

場所：AKITA DINING なまはげ
問合せ：TEL:090-2689-0423
メールアドレス：
hughmaeda@yahoo.co.jp

山形 照美さん

昨年は天皇皇后両陛下ご結婚
五十周年、天皇陛下ご即位二十周
年の節目の年。日本芸術年鑑社で
は「美意識に優れた作品を鑑賞し
てもらい(愛と感動)を世界中
の人々に与えたい」との願いか
ら、芸術家の賛同を得て「芸術界
二〇〇九年」を九月に発行した。
本学卒業の山形照美さん(昭55
社福卒)が芸術の部で優秀作品と
して掲載された。



「芸術界」優秀作品に
選ばれた山形さん

優れた芸術家の仲間入りを果た
した山形さんは「大変光栄に思っ
ている。今後も愛と感動を与えら
れる現代詩に挑戦していきたい」と
喜びを語った。

掲載された四詩のうち一詩は次
の通り。

二重の谷

上位と下位に二つの山を持ち
M型に凹んだ真ん中に平均値がある
これが今時の子供達の成績分布グラフ
経済の二極化がこんな所に図式化される
子供達まで、その将来までもが
社会に二分化され、時代に決定付けられる
数学的にも、経済以外の日常ですら
「平均」とは、二つの山の頂上付近に存在して
「普通」の生活が当たり前前に確保されてきた
国民総中流時代の平均的な大多数の分布と
数少ない富裕層と貧困層の位置の記憶と手測
その当然過ぎた「中流」の幻影に捕われ
今や希少となった平均の谷から
日本が抜け出せないでいる

絨毯とタペストリー

芹沢銈介美術工芸館で
は昨年十月十日から十二
月二十日まで芹沢銈介コ
レクション「絨毯I」を、
今年一月九日から二月
十五日まで「絨毯II」の
特別展を開催している。
銈介氏の自宅応接間には
古今東西から集められた
絨毯が床やソファ、肘掛けイスに
敷かれ、いかに絨毯を愛用してい
たかがしのばれる。
作品は多種多様。イランやトル
コなどイスラム圏の敷物や壁掛け
のほか、礼拝専用にしつらえた特別
なもの、コーカサス地方でキリムと
呼ばれ、親しまれたもの、不思議な
文様が特徴の北米ナバホ族のブラン
ケットなど、さまざまな民族の世界
観、美意識がうかがえる。

また、毎週土・日にはワー
ショップで「編織様のミニタペスト
リーを織ってみよう」が開催され、
一日平均七、八人がオリジナルのタ
ペストリーづくりに挑戦している。
初めに見本を見て、好きな作品を
選ぶ。見本と同じようにする必要
はなく、あくまでイメージをつく
る上での参考で、「これ、いいわ」
「面白そう」と挑戦者の創作意欲を
かきたたせた。



つくり方を教える学生

参加者は紙製の織り機を用いて、
一段ずつ織っていく。織っていく
ごとに平織りや織り機の仕組みが
分かり、出来上がったときの達成
感は格別だ。所要時間は約四十分。
傍らで見守る職員やアシスタント
学生が懇切丁寧に説明してくれる
ので、心配なく完成品にまでたど
りつける。

最終回は二月十四日曜日。皆
さまのお越しをお待ちしています。

東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館 展示予定

年	2010年		2011年	
月	4月7日(水)～6月30日(水)	7月1日(木)～8月31日(火)	10月1日(金)～12月16日(木)	1月20日(木)～3月18日(金)
展示内容	〈特別展〉芹沢銈介コレクション インド・インドネシアの染織	〈企画展〉やきもの・かまばの風景 ～芹沢銈介作品にみる～	〈特別展〉柏市所蔵・芹沢銈介の名作 ～砂川七郎コレクション～(仮)	〈企画展〉野の精たち ～芹沢が描いた裸婦～

開館時間 10:00～16:30(入館は16:00まで)
休館日 展示替え期間、入試期間
入館料 一般300円、学生200円(高校生以下、本学学生・教職員は無料)

〒981-8522 仙台市青葉区国見1丁目8番1号
東北福祉大学2号館内 TEL 022-717-3318
FAX 022-717-3324

同窓会便り

②

総会の報告

富山県同窓会

富山県同窓会会長・本田孝夫氏

富山市のキャッチコピーに「立山連邦を仰ぐ特等席」というのがあります。第五回富山県同窓会が開催された十一月七日(土)は、まさにその言葉通りの天候に恵まれ、総会会場の県民会館からすでに冬化粧をした三、〇〇〇名級の立山連邦を見ながらでした。



佐藤伊知子先生(前列真ん中)を囲んだ出席者の皆さん

講演をお願いした佐藤伊知子先生が講師と来賓を兼ねてご出席いただき、ありがとうございました。

小松先生はじめ、同窓会事務局の先生方は所用のため出席いただけませんでしたが、次回は是非富山にお越しいただきますようお願いしております。

さて本年、同窓会を結成し五年の節目を迎えることができました

の節目を迎えることができました

富山県同窓会

富山県同窓会会計・西岡正子氏

三十年前は、富山から仙台までとても遠く、列車で約十二時間かかりました。ところが七月二十五日の母校訪問に参加して、景色を楽しみながら六時間で到着したことに、まず驚かされました。三十年の間に時間的に近くなっていたのです。

鈴木同窓会参与と磯海さんに案内された、すばらしいキャンパス、ホスピタル、介護施設、スポーツ施設の数々に感嘆するばかりでした。覚えていた風景は少なく、心寂しい気もしましたが、けやきホールを中心として、所狭しに立ち並ぶ学舎に母校の拡大発展が見

いて審議した結果、提案事項すべてに賛意いただきました。本年の事業では前回の同窓会だよりも報告させていただきましたが、大学訪問を実施いたしました。心躍らせて参加したのは私だけではないようで、泊二日の訪問で学校の発展ぶりを目の当たりにし、参加者一同大変感激しました。総会後は佐藤先生より「バレーボールを通じて学んだこと」と題して講演していただき、一つの道を探るには強い意志が必要なことを痛感しました。その後先生を囲んで酒を酌み交わしながら意見交換をし、楽しいひとときを過ごしました。

結びに今後とも富山県同窓会に対するご指導をお願いし、誠にありがとうございます。また、大学はますますの充実と発展をお祈り申し上げます。

北海道札幌地区同窓会
十月三十一日(土) ホテル札幌ガーデンパレスに、中里仁東北福祉会社団法人本部統括(昭57社福卒)、阿部靖彦同窓会事務局長(昭59社福卒)を来賓として迎え、総会を開催した。

清水博副会長(昭50社福卒)の歓迎のあいさつから始まり、阿部事務局長が、大学並びに同窓会の現状を報告し、議事に入った。事業・決算の報告、事業計画・予算の審議が行われ、承認された。記念講演では、中里先生が「東北福祉大学とせんだんグループ事業所との連携について」と題し、東北福祉会事業所の事業概要から、新しい教育プログラム・実践モデルの開発・発信等まで、大学との連携内容を分かりやすく説明した。懇親会は、実に和やかな雰囲気の中で行われ、近況や在学当時、仙台で過ごした食生活の話題に花

長い時を経て風化した福聚殿に雨漏りが発生し、心ならずも擬宝珠を撤去されたことでした。時代はめまぐるしく動いていますが、暖かではる苦しいあの時のあの場所の思い出は、それぞれの心の片隅に息づいていました。大学訪問で、これほど元気になるとは、思いもよりませんでした。

終わりに、大学訪問に際し、最後までお付き合いいただいた鈴木参与や磯海さんをはじめ、懇親会に出席くださった小松洋吉先生・鈴木玲子先生に深く御礼申し上げます。

福島県双葉郡富岡町の社会福祉法人「友愛会」から卒業生三人を含む一行八人が十二月七日、本学を見学に訪れた。三人は法人事務局長で施設長を

が咲き、一年ぶりの再会を喜んでいた。

特に「私の一步は常に人に面倒をかけ、また誰かの犠牲を伴う。何もしないのがベストなのかと悩む」という言葉には、介護する側とされる側の現実が見え、素直なふれあいの中に生きるパワーがあることを告げていた。

また「西蒲区障がいのある在宅支援について」相談支援専門員の海老野郁夫氏からは、事例を交え支援サービスの現状と課題が紹介された。日ごろ

「私の時は...があつて」と、もう夢中です。皆目を輝かせて饒舌になり、それぞれの時代の違いに大いに笑っていました。このひと時だけでも、大学訪問に参加した甲斐があつたと思います。見学の途中で、全員に疑問が浮

かびました。それは福聚殿の上にあった擬宝珠が、避雷針を残して消えていたことです。擬宝珠に像が安置されていると先輩から聞かされていた同窓生もおり、疑問は膨らむ一方で、事の真相があきらかにならないまま家路につきました。このタマネギ(昔は擬宝珠を学生はこう呼んでいました)。事の真相を、先日富山県同窓会総会に来賓として参加して下さった、佐藤伊知子先生がご存じでした。

新潟県同窓会
十一月二十八日(土)、宮崎県同窓会総会が宮崎県庁前の割烹「たかさご」で開催された。総会には十五名の同窓生と大学から鈴木智彦教学部次長(昭52社福卒)が出席した。

午後六時から総会が開催され、野田伊津岐会長(昭52社福卒)の挨拶後、議事が進められた。平成二十年度の活動報告及び収支決算報告、平成二十一年度活動計画及び予算審議が行われ、承認された。

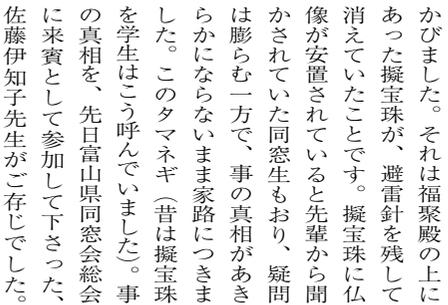
総会後は、鈴木次長が大学と同窓会活動の現状報告等を挨拶と兼ねて報告した。

また、同窓生である宮崎県議会議員の図師博規氏(平3社福卒)も多忙の中、出席され、宮崎県の展望などを中心に話し、熱気に包まれた。

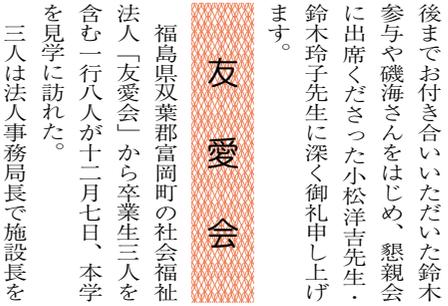
その後は懇親会になり、出席された同窓生が近況報告を兼ねて自己紹介を行い、それぞれ同窓生同士語り合い、打ち解けた雰囲気の中、時間の経つのも忘れ、大いに盛り上がった。

七月十五日の夕方、那覇市のロワジールホテル那覇で沖縄県同窓会が行われた。

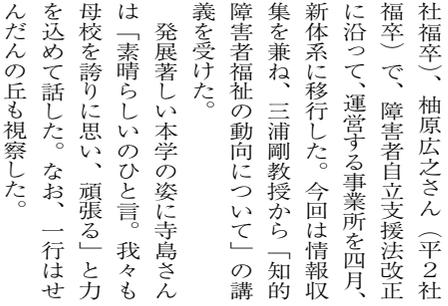
大学から岡田清一教学部部长と千葉幸喜入試センター次長(昭54社福卒)が出席。同窓生十三名が出席した総会では、岡田教授が講演した。懇親会に入ると、懐かしそうに仙台での学生生活に思いをはせていた。また、一つの高校から五名が入学した時代もあり、近年の入学減少と同窓生から寂しさを感じている声も上がった。



思い出の校舎を背景にして



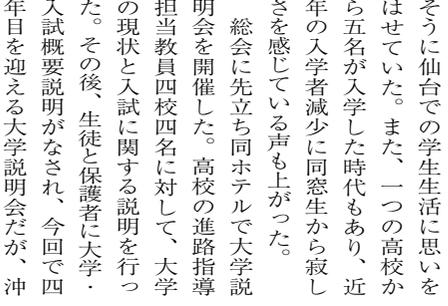
多くの会員が出席した札幌地区同窓会



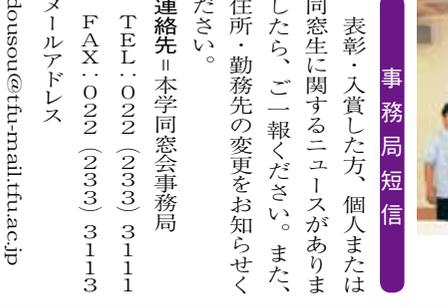
講師の岡村さん(前列右から3人目)を囲んだ出席者の皆さん



県議の図師博規さん(後列左)と会員の皆さん



和やかな集合写真



2年ぶりの再会を喜ぶ沖縄県同窓会

事務局 短信

表彰・入賞した方、個人または同窓生に関するニュースがありましたら、ご一報ください。また、住所・勤務先の変更をお知らせください。

連絡先 本学同窓会事務局
TEL: 022(233) 3111
FAX: 022(233) 3113
メールアドレス
dousou@tfu-mail.tfu.ac.jp